

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成24年10月11日 (2012.10.11)

【公表番号】特表2008-542455(P2008-542455A)

【公表日】平成20年11月27日 (2008.11.27)

【年通号数】公開・登録公報2008-047

【出願番号】特願2008-512725(P2008-512725)

【国際特許分類】

C 0 8 L 9/00 (2006.01)

C 0 8 K 3/00 (2006.01)

C 0 8 K 5/544 (2006.01)

B 6 0 C 1/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 9/00

C 0 8 K 3/00

C 0 8 K 5/544

B 6 0 C 1/00 A

【誤訳訂正書】

【提出日】平成24年8月27日 (2012.8.27)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも 1 種のイソブレンエラストマー、補強用充填剤としての無機充填剤、および前記補強用無機充填剤と前記イソブレンエラストマー間の結合をもたらす多官能性オルガノシロキサンカップリング剤をベースとするゴム組成物を含むタイヤであって、前記無機充填剤が、シリカ、アルミナ、水酸化（酸化）アルミニウム、アルミノシリケート、酸化チタン、炭化又は窒化ケイ素から選択され、前記オルガノシロキサンが、分子当り、そのケイ素原子にグラフトさせた、一方で前記補強用無機充填剤にグラフトさせ得る少なくとも 1 個のヒドロキシルまたは加水分解性官能基と、他方で前記イソブレンエラストマーにグラフトさせ得る少なくとも 1 個のアゾジカルボニル官能基 -CO-N=N-CO- を担持する少なくとも 1 個の基とを含むことを特徴とする前記タイヤ。

【請求項 2】

オルガノシロキサンが、同一または異なる下記の平均式を有するシロキシル単位からなる、請求項 1 記載のタイヤ：



（式中、a、bおよびcは、各々、0～3の整数または分数であり；

G¹基は、複数個が存在する場合は同一または異なるものであって、一価の炭化水素基を示し；

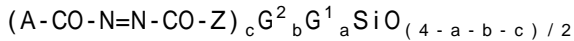
G²基は、複数個が存在する場合は同一または異なるものであって、ヒドロキシルまたは加水分解性基を示し；

G³基は、複数個が存在する場合は同一または異なるものであって、アゾジカルボニル官能基(-CO-N=N-CO-)を担持する基を示す；

但し、0 < (a+b+c) 3であり；少なくとも 1 個のG²基（即ち、b 1）および少なくとも 1 個のG³基（即ち、c 1）が前記シロキサン分子内に存在することを条件とする）。

【請求項 3】

前記オルガノシロキサンが、同一または異なる下記の平均式(III)を有するシロキシル単位からなる、請求項 2 記載のタイヤ：



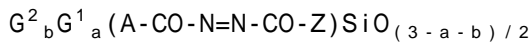
(式中、Zは、前記アゾジカルボニル官能基を前記オルガノシロキサンのケイ素原子に連結する二価の結合基であり；

Aは、一価の炭化水素基または式Z'の基を示し；Z'は、Zと同一または異なるものであって、前記アゾジカルボニル官能基を前記オルガノシロキサンのケイ素原子(Zに結合しているSi原子と同一または異なる)に結合させ得る二価の結合基であり；

A、Zおよび該当する場合のZ'は、個々に、1個以上のヘテロ原子を含み得る)。

【請求項 4】

前記オルガノシロキサンが、同一または異なる下記の平均式(V)を有するシロキシル単位からなる、請求項 3 記載のタイヤ：



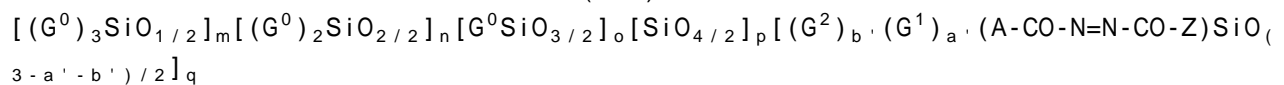
(式中、aは、0～2の整数または分数であり；

bは、1～2の整数または分数であり；

(a+b) 2である)。

【請求項 5】

前記オルガノシロキサンが、下記の式(VII)に相応する、請求項 4 記載のタイヤ：



(式中、a'は、0、1および2から選ばれた整数であり；

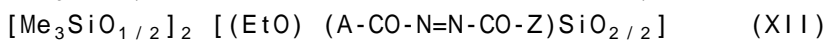
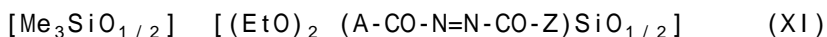
b'は、0、1および2から選ばれた整数であり；

和a'+b'は、b' = 0の場合符号G⁰の少なくとも1個がG²の定義に相応することを条件として、0～2に及ぶ範囲内にあり；そして、符号m、n、oまたはpのいずれか少なくとも1つは0(ゼロ)以外の整数または分数であり、qは1に等しいまたは1よりも大きい整数または分数を示し；或いは、qは1よりも大きく、その場合、符号m、n、oまたはpの各々は任意の値を有し；

符号G⁰は、同一または異なるものであって、各々、G²またはG¹に相応する基の1つを示す)。

【請求項 6】

前記オルガノシロキサンが、下記の式(XI)および(XII) (Et = エチル)の少なくとも1つに相応する、請求項 5 記載のタイヤ：



【請求項 7】

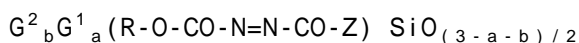
G¹基が、互いに同一または異なるものであって、C₁～C₆アルキル基、シクロヘキシル基およびフェニル基からなる群から選ばれ；G²基が、互いに同一または異なるものであって、ヒドロキシル基、C₁～C₈アルコキシ基およびC₅～C₈シクロアルコキシ基からなる群から選ばれる、請求項 1 記載のタイヤ。

【請求項 8】

基G¹が、メチルおよびエチルから選ばれ；基G²が、ヒドロキシル、メトキシおよびエトキシから選ばれる、請求項 7 記載のタイヤ。

【請求項 9】

前記オルガノシロキサンが、同一または異なる下記の平均式(VIII)を有するシロキシル単位からなる、請求項 1 記載のタイヤ：

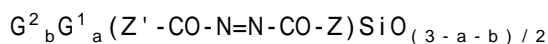


(式中、a、b、Z、G¹およびG²は、前記で示した定義を有し；

Rは、C₁～C₄アルキルを示す)。

【請求項 10】

前記オルガノシロキサンが、同一または異なる下記の平均式(IX)を有するシロキシル単位からなる、請求項1記載のタイヤ：



【請求項11】

G^1 が、メチルまたはエチル基であり； G^2 が、ヒドロキシル、メトキシルまたはエトキシル基であり；Z(および、該当する場合のZ')が、1～18個の炭素原子を含む二価の炭化水素基を示す、請求項2記載のタイヤ。

【請求項12】

ゴム組成物がタイヤのトレッド中に存在する、請求項1記載のタイヤ。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0031

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0031】

表1

組成物番号：	C-1	C-2
NR (1)	100	100
シリカ (2)	50	50
カーボンブラック (3)	4	4
カップリング剤 (4)	4	—
カップリング剤 (5)	—	5.5
ZnO	3	3
酸化防止剤 (6)	1.9	1.9
ステアリン酸	2.5	2.5
イオウ	1.5	1.5
促進剤 (7)	1.8	1.8

(1) 素練り天然ゴムNR；

(2) Rhodia社からのマイクロビーズ形の“Zeosil 1165 MP”シリカ (BETおよびCTAB：約150～160m²/g)；

(3) カーボンブラックN330 (Degussa社)；

(4) TESPT (“Si69”、Degussa社)；

(5) アゾシラン(項III-1で合成)；

(6) N-1,3-ジメチルブチル-N-フェニル-パラ-フェニレンジアミン (Flexsys社からの“Santoflex 6-PPD”)；

(7) N-シクロヘキシル-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド (Flexsys社からの“Santocure CBS”)。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0032

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0032】

表2

組成物番号：	C-1	C-2
硬化前の特性：		
Ti (分)	7.9	10.6
T ₉₉ - Ti (分)	17.6	9.9
K (分 ⁻¹)	0.261	0.467
硬化後の特性：		
M10 (MPa)	5.11	5.41
M100 (MPa)	1.84	2.49
M300 (MPa)	1.81	3.73
M300/M100	0.99	1.50
tan(δ) _{max}	0.147	0.105
ΔG*	1.97	1.29
破壊応力 (MPa)	20	19
破壊時伸び (%)	720	530